

動力消防ポンプ設備概要表

(棟別 ① 棟)

防 対 規 象 火 物 模	構 造	階 数	建築面積 ④ m ²		用途 ⑥
	耐 ② 火 地上 階 準 耐 火 ③ そ の 他 地下 階		延べ面積 ⑤ m ²		1. 2 階の床面積の合計 ⑦ m ²
項 目	名 称 ・ 材 質 ・ 寸 法 等				
ポンプ別 ⑧	消 防 ポンプ自動車, 可 般 消 防 ポンプ				
ガ ソ ー ル ポン プ	型 式				
	⑨ 級 別	級			
	圧 力	MPa	放 水 量	L/min	
	設置位置	⑩			
ホ ー ス	材質 ⑪	内 径	長 さ	本 数	
			mm	m	本
筒 先	材質 ⑫	筒先口径	本 数		
		mm	本		
水 源	種 類 ⑬	地下式・半地下式・据置式・その他()			
	有 効 水 量	⑭ m ³	m ³	m ³	m ³
	設置個数	⑮ 個			
設計, 施工業者指名					
⑯					
備考					
⑰					

この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- ① 概要表は棟別を原則とし、複数の棟がある場合は、その棟ごとの名称を記入する。
- ② 該当する構造を○で囲む。
- ③ 地上、地下の階数を記入する。
- ④ 建築面積を記入する。
- ⑤ 延べ面積を記入する。
- ⑥ 令別表第1の該当する用途を記入する。
- ⑦ 1、2階の床面積の合計を記入する。
- ⑧ 該当するポンプを○で囲む。
- ⑨ 設置するポンプの型式、級別、ポンプ圧力及び放水量を記入する。
- ⑩ ポンプの設置場所を記入する。
- ⑪⑫ 設置するホース、筒先の材質、口径、長さ及び収納（積載する場合も含む。）しているホース、ノズル本数を記入する。
- ⑬ 水源の種類で該当するものを○で囲み、その他は具体的な方式を記入する。なお、複数の水源を有し、種類が異なる場合はその他の欄に記入する。
- ⑭ 有効水量は常時消防用水として使用できる水量を記入し、複数の場合はそれぞれの水量を記入する。
- ⑮ 設置個数は同一敷地内に設置する個数を記入する。
- ⑯ 設計、施工業者氏名を記入する。未定の場合は、未定と記入する。
- ⑰ 消防機関が記入するので空欄とする。

自動火災報知設備の概要表

(その1)

感 知 器	機 種		蓄 積	自 動	遠 隔	種 別	個 数
	式 型()						
	型式番号感 第	号 製造会社名					
	式 型()						
	型式番号感 第	号 製造会社名					
	式 型()						
	型式番号感 第	号 製造会社名					
	式 型()						
	型式番号感 第	号 製造会社名					
	式 型()						
	型式番号感 第	号 製造会社名					
	式 型()						
	型式番号感 第	号 製造会社名					
	式 型()						
	型式番号感 第	号 製造会社名					
	式 型()						
	型式番号感 第	号 製造会社名					
	発 信 機	屋内型 型 級 個	型式番号 発第 号	製造会社名			
屋外型 型 級 個		型式番号 発第 号	製造会社名				
表 示 灯	V 個						
中 継 器	種 別		回線数	電 源 供 給 方 式			設置台数
	自動・遠隔・アナログ・その他(型式番号 中第 号)			専用(予備電源 V AH)・受信機・その他()			
	自動・遠隔・アナログ・その他(型式番号 中第 号)			専用(予備電源 V AH)・受信機・その他()			
	自動・遠隔・アナログ・その他(型式番号 中第 号)			専用(予備電源 V AH)・受信機・その他()			
	自動・遠隔・アナログ・その他(型式番号 中第 号)			専用(予備電源 V AH)・受信機・その他()			
	自動・遠隔・アナログ・その他(型式番号 中第 号)			専用(予備電源 V AH)・受信機・その他()			
	自動・遠隔・アナログ・その他(型式番号 中第 号)			専用(予備電源 V AH)・受信機・その他()			
	自動・遠隔・アナログ・その他(型式番号 中第 号)			専用(予備電源 V AH)・受信機・その他()			
	自動・遠隔・アナログ・その他(型式番号 中第 号)			専用(予備電源 V AH)・受信機・その他()			
	自動・遠隔・アナログ・その他(型式番号 中第 号)			専用(予備電源 V AH)・受信機・その他()			
製 造 会 社 名							

(その2)

受信機	蓄積式・二信号式・アナログ式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・その他()			
	P・GP型 ③ / 回線 R・GR型 自火報点数 ③点 その他()点数 ③点 予備点数 ③点			
	予備電源(DC V AH)	設置場所	階 室	
	型式番号	受第 号	製造会社名	
表示器	④ / 回線 台 自火報点数 ④点 その他点数 ④点 予備点数 ④点			
	④ / 回線 台 自火報点数 ④点 その他点数 ④点 予備点数 ④点			
電源	常用電源	単相・三相AC V 非常電源専用受電設備回路・電灯回路・動力回路		
		DC V AH 充電方式(トリクル・浮動) 使用別(専用・共用())		
	非常電源	非常電源専用受電設備 単相・三相AC V		
		蓄電池設備 DC V AH 充電方式(トリクル・浮動) 使用別(専用・共用())		
音響装置	主音響装置 (内蔵されているものは除く)	ベル・サイレン・電子ブザー・音声合成・その他()		
		鐘径 mm	定格DC V mA	個
		型式番号(号)	製造会社名	
	地区音響装置	型式番号(号) 認定番号(号) 製造会社名		
		ベル・サイレン・電子ブザー・スピーカー・その他()		
		鐘径 mm	定格DC V mA	個 dB
	音声切替装置	型式番号(号) DC V 製造会社名		
		常用電源	単相 AC V 非常電源専用受電設備回路・電灯回路	
非常電源		蓄電池設備 DC V AH 充電方式(トリクル・浮動)		
配線	常用電源回路	ケーブル露出・電線管露出・電線管理設・その他()		
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他()		
	警報回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他()		
	その他回路	IV電線・ケーブル露出・電線管露出・電線管理設・その他()		
関連設備	消火設備()・火災通報装置・誘導灯信号装置			
	非常警報設備・放送設備・その他()			
工事者区分	電源工事			
	配線工事			
	配線工事	⑤		
	配線工事			
	機器の取付け工事			
その他	⑥			

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 選択肢の併記している欄は、該当事項を○印で囲むこと。
- 3 感知器記入欄の()内は、その機能又は性能を記入すること。
- 4 関連設備の消火設備の()内には、その設備等の種類を記入すること。

- ① 感知器の機種別、蓄積機能、自動試験機能、遠隔試験機能の有無、感度種別等について記入する。
- ② 中継器の種別、回線数、蓄電池容量（銘板に示されているAH）等を記入する。
- ③ 受信機のうちP型については、使用している回線数（使用回線数／全回線数）を、R型については、アドレス表示点数を記入する。
- ④ 使用している回線数（使用回線数／全回線数）とアドレス表示点数を記入する。
- ⑤ 該当する工事を施工する会社名を記入する。
- ⑥ 耐火電線、耐熱電線の接続工法が標準工法であるものについての工法名、その他の特記事項を記入する。

ガス漏れ火災警報設備の概要表

検知機	検知対象ガス	空気より軽い都市ガス	空気より重い都市ガス	その他のもの
	個数	個	個	個
中継器	回線 個	電源 専用方法 受信機供給方法 その他の方法	予備電源 V ①	AH
受信機	区分	型	回線数	② / 回線
	附属装置		附属回路	
	予備電源	V ①	AH	設置場所 階 ③
電源	常用電源	単相・三相 AC V	電灯回路・動力回路	
		DC V AH	充電方法	トリクル・浮動 使用別 専用・共用
	非常電源	蓄電池設備	充電方法	トリクル・浮動 使用別 専用・共用
		DC V AH	インバーター出力	VA
	自家発電設備	単相・三相 AC V	KVA	
警報装置	音声警報装置	増幅器出力	スピーカー個数	非常用放送設備と兼用
		定格 W	個	有・無
	ガス漏れ表示灯	中継器附属のもの		その他のもの
		個	個	
検知区域警報装置	検知器附属のもの		その他のもの	
	個	個		
配線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他()		
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他()		
	検知器回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他()		
	警報装置回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他()		
	その他の回路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他()		
工事者区分	電源及び配線	④	機器取付	④
製造者名	受信機製造会社	型式番号		
	中継器製造会社	型式番号		
	検知機製造会社			
その他	⑤			

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

- ① 蓄電池容量（銘板に示されているAH）を記入する。
- ② 使用している回線数（使用回線数／全回線数）を記入する。
- ③ 室名を記入する。
- ④ 該当する工事を施工する会社名を記入する。
- ⑤ 耐火電線、耐熱電線の接続工法が標準工法であるものについての工法名、その他の特記事項を記入する。

漏電火災警報器概要表

(棟別 ① 棟)

防火対象物の概要	構造	階数	建築面積	用途
	耐火・準耐火 防火・その他 (②)	地上 階 ③ 地下 階	④ m ²	⑥
	外壁	壁	延べ面積	最大負荷電流の合計
			⑤ m ²	⑦ A
	間柱 下地鉄鋼 ⑧ 入り・なし	間柱 下地鉄鋼 入り・なし	根太 下地鉄鋼 入り・なし	天井 野緑鉄鋼 入り・なし
機器等の概要	製造会社名	型式	消防庁検定型式番号	級別
	⑨			級
	⑩ 種別		屋内型 互換性型	屋外型 非互換性型
	⑪ 設置位置			
	⑫ 遮断機構		有	無
	⑬ 接地工事		有	無
	検出漏えい電流設定値	⑭ mA	電源の定格電圧	V
	⑮ 種別		屋内型	屋外型
	⑯ 構造種別		貫通型	分割型
	⑰ 設置位置			
	⑱ 互換性の有無		互換性型	非互換性型
	⑲ 警戒電路の種別		屋内電路 第2種接地線	屋外電路
	警戒電路の定格電流	⑳ mA以下	警戒電路の定格電圧	㉑ V以下
	警戒電路の周波数	㉒ ヘルツ	定格電流	㉓ A
	保護カバーの接地	㉔	有	無
音響装置	⑳ 種別		ベル・サイレン・ブザー	ヶ所
	㉖ 設置位置			
設計, 施工業者氏名				
㉗				
備考				
㉘				

この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- ① 概要表は棟別を原則とし、複数の棟がある場合は、その棟ごとの名称を記入する。
- ② ネオン管灯設備を設置する場合は、その他の（ ）内に設備名を記入する。
- ③～⑥ 動力消防ポンプ設備概要表に準ずる。
- ⑦ 建築物又はネオン管灯設備に係る最大負荷電流の合計数値を記入する。ただし、共同住宅等で最大負荷電流がとれないものは、ブレーカーの合計容量を記入する。
- ⑧ 間柱、根太、天井、下地及び野縁に使用する材料名を記入し、鉄網は該当するものを○で囲む。なお、ネオン管灯設備を設置する場合は省略する。
- ⑨ 製造会社名、型式を記入する。
- ⑩ 該当するものを○で囲む。
- ⑪ 受信機の設置場所を記入する。
- ⑫⑬ 該当するものを○で囲む。
- ⑭ 電流設定値及び定格電圧値を記入する。
- ⑮⑯ 該当するものを○で囲む。
- ⑰ 変流器の設置場所を記入する。
- ⑱⑲ 該当するものを○で囲む。
- ⑳～㉓ 警戒電路の定格電流、定格電圧、周波数及び変流器の定格電流値を記入する。
- ㉔ 該当するものを○で囲む。
- ㉕ 該当するものを○で囲み、個数を記入する。
- ㉖ 音響装置の設置場所を記入する。
- ㉗㉘ 動力消防ポンプ設備概要表⑯⑰に準ずる。

消防機関へ通報する火災報知設備の概要表

火 災 通 報 装 置	品 名 ・ 型 式				型式番号			
	製 造 会 社 名							
	設 置 場 所		① 階 室					
	遠 隔 起 動 装 置	設 置 場 所	電 話 機 付 (台)	(1)	(2)	(3)		
				(4)	②	(5)	(6)	
			電 話 機 な し (台)	(1)	(2)	(3)		
				(4)	(5)	(6)		
	選 択 信 号 送 出 方 式		D P 方 式 (1 0 P P S 、 2 0 P P S) ③ P B 方 式					
	自 動 火 災 報 知 設 備 連 動		有 ・ 無					
	常 用 電 源		AC		V			
予 備 電 源		DC		V		AH		
M型発信機	設 置 場 所		基					
工 事 者 区 分	電 源 工 事							
	配 線 工 事							
	機 器 の 取 付 工 事							
	工 事 担 任 者 (電 話 工 事)		氏名			資格		
そ の 他	④							

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。
- 3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。

- ① 本体の設置場所を具体的に記入する。
- ② 遠隔起動装置の設置場所を具体的に記入する。
- ③ 該当するものを○で囲む。
- ④ 通報メッセージの内容を具体的に記入する。

非常警報設備概要表

(棟別 ① 棟)

防 対 規 火 物 模	構 造	階 数	建築面積 ④ m ²	用途 ⑥			
	② 水 準 火 その他	地上 ③ 階 地下 ③ 階	延べ面積 ⑤ m ²	収容人員 ⑦ 名(世帯)			
起 動 装 置 の 設 置 場 所							
区分 階別	用 途	場 所 ・ 位 置 (床面からの高さ)	設 置 数 個	区分 階別	用 途	場 所 ・ 位 置 (床面からの高さ)	設 置 数 個
階			個	階			個
階			個	階			個
階			個	階			個
階	⑧		個	階			個
階			個	階			個
階			個	階			個
非常警報設備の種類 ⑨			一体型・複合装置型	鳴動区分	一斉・区分()		
電 源 ⑩	非常電源専用受電設備		AC	V			
	蓄電池	種 別	容 量	充電方式	充 電 電 流		
		別 置 ・ 内 蔵 アルカリ 鉛	ΔH H	トリクル 浮 動	mA		
配 線 ⑪	施 行 方 法		使 用 電 線		太 さ		
	非 常 電 源				mm		
	常 用 電 源 回 路				mm		
	警 報 回 路 操 作 回 路				mm		
	表 示 灯 回 路				mm		
設計, 施工業者氏名							
⑫							
備 考							
⑬							

この用紙の大きさは、日本産業規格A4 とすること。

- ①～⑥ 動力消防ポンプ設備概要表に準ずる。
- ⑦ 消防用設備等（特殊消防用設備等）計画書⑭に準ずる。
- ⑧ 起動装置の設置場所、取付位置の高さ、設置個数及び各階の用途を記入する。
- ⑨ 非常警報設備の種類及び鳴動方式は該当するものを○で囲み、区分鳴動の場合は鳴動方式を記入する。
- ⑩ 非常電源専用受電設備の場合は電圧値を記入し、蓄電池設備の場合は蓄電容量及び充電電流の値を記入し、種別及び充電方式は該当するものを○で囲む。
- ⑪ 配線の施工方法、使用電線及び使用電線の太さを記入する。
- ⑫⑬ 動力消防ポンプ設備概要表⑯⑰に準ずる。

非常警報設備(放送)概要表

(棟別 ① 棟)

防 火 物 模 対 象 規 模	構 造	階 数	建築面積 ④ m ²	用途 ⑥	
	耐②火 準耐火 その他	地上③階 地下階	延べ面積 ⑤ m ²	収容人員 ⑦ 名(世帯)	
使用状況	専用設備⑧ 共用設備()				
増 幅 器 ⑨	型 式	方 式	電 源	消費電力	出 力
		トランジスター 真空管	AC~100V DC~24V	AC時 VA DC時 W	定格 W 最大 W
操 作 部 ⑩	放送区分	一斉・階別等選択	回線数 /	遠隔 操作部	無 有()
⑪ 防災センター	設 置 所	区 画 構造	内 装	床面積	m ²
	開 口 部	特定防火設備 防火設備	m ² m ²	ヶ所 ヶ所	常時閉鎖・煙連動 常時閉鎖・煙連動
起 動 装 置 ⑫	押ボタン・非常電話・インターホン 個 感知器, 発信機				
⑬ スピーカー	配線方式	型 名	型 式	定 格 入 力	施 工 方 法
	2線式 3線式		L級 個 M級 個 S級 個	W 個 W 個 W 個 W 個 W 個 W 個	壁掛 個 埋込 個 その他 個
	常用電源	AC-⑭ V 専用・兼用()			
電 源 ⑮	種 別	容 量	電 圧	充 電 方 式	充 電 電 流
	非常電源 ニッケル カドミウム 鉛	時 間 率 AH	DC V	トリクル 浮動 その他	mA
⑯ 配 線	電 源 回 路	施 工 方 法	使 用 電 線	太 さ	
	警 報 回 路			mm	
設計, 施工業者氏名 ⑰					
備 考 ⑱					

この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- ①～⑥ 動力消防ポンプ設備概要表に準ずる。
- ⑦ 消防用設備等（特殊消防用設備等）計画書⑭に準ずる。
- ⑧ 専用、共用の別を○で囲み、共用の場合は設備名を（ ）内に記入する。
- ⑨ 設置する増幅器の型式、消費電力、出力はその値を記入し、方式は該当するものを○で囲む。
- ⑩ 放送区分は該当するものを○で囲み、回線数（使用回線数／全回線数）を記入し、遠隔操作器の有無を○で囲み、有の場合は設置場所を記入する。
- ⑪ 内装は仕上げ、下地共記入し、開口部は特定防火設備である防火戸又は防火戸を○で囲み、その大きさ（開口部が2以上ある場合は合算する。）と箇所数を記入し、閉鎖方式は該当するものを○で囲む。
- ⑫ 該当するものを○で囲み、設置個数を記入する。
- ⑬ 配線方式は該当するものを○で囲み、型名を記入し、型式、施工方法は設置するスピーカー数を記入し、定格入力容量及び個数を記入する。ただし、既設は（ ）書きで記入する。
- ⑭ 常用電源は電圧値を記入し、専用、兼用の別を○で囲み、兼用する場合はその設備名を（ ）内に記入する。
- ⑮ 非常電源の種別及び充電方式は該当するものを○で囲み、蓄電容量、放電電圧、充電電流は各値を記入する。
- ⑯ 配線は施工方法、使用電線及び使用電線の太さを記入する。
- ⑰⑱ 動力消防ポンプ設備概要表に⑰⑱準ずる。

総合操作盤の概要表

品名・型式				
音響装置		<input type="checkbox"/> ベル・ <input type="checkbox"/> ブザー・ <input type="checkbox"/> 音声警報・その他()		
表示方法		<input type="checkbox"/> CRT・ <input type="checkbox"/> グラフィックパネル・ <input type="checkbox"/> 窓・その他()		
製造会社名				
監視場所(副監視)(遠隔監視)		① 階 室		
電源	常用電源	AC V		
	非常電源	<input type="checkbox"/> 非常電源専用受電設備・ <input type="checkbox"/> 非常電源(自家発電設備)・ <input type="checkbox"/> 蓄電池設備 DC V AH		
消防用設備等	<input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備	<input type="checkbox"/> スプリンクラー設備	<input type="checkbox"/> 水噴霧消火設備	
	<input type="checkbox"/> 泡消火設備	<input type="checkbox"/> 不活性ガス消火設備	<input type="checkbox"/> ハロゲン化物消火設備	
	<input type="checkbox"/> 粉末消火設備	<input type="checkbox"/> 屋外消火栓設備	<input type="checkbox"/> 自動火災報知設備	
	<input type="checkbox"/> ガス漏れ火災警報設備	<input type="checkbox"/> 非常警報設備(放送設備に限る)	<input type="checkbox"/> 誘導灯	
	<input type="checkbox"/> 排煙設備	<input type="checkbox"/> 連結散水設備	<input type="checkbox"/> 連結送水管	
	<input type="checkbox"/> 非常コンセント設備	<input type="checkbox"/> 無線通信補助設備	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	避難設備・建築設備等	<input type="checkbox"/> 排煙設備	<input type="checkbox"/> 非常用の照明装置	<input type="checkbox"/> 機械換気
		<input type="checkbox"/> 空気調和	<input type="checkbox"/> 非常用エレベーター	<input type="checkbox"/> 防火区画(構成機器設備)
<input type="checkbox"/> 防煙区画(構成機器設備)		<input type="checkbox"/> 非常錠設備	<input type="checkbox"/> I T V 設備	
<input type="checkbox"/> ガス緊急遮断弁		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
工事者区分 ②	電源工事			
	配線工事			
	配線工事			
	機器の取付工事			
	機器の取付工事			
その他	③			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項の□印内をチェックすること。
 3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。

- ① 本体の設置場所を具体的に記入する。
- ② 火災報知システム専門技術者証の記載事項を記入する。
- ③ その他の特記事項を記入する。

避難器具の概要表

防 火 対 象 物 の 概 要										
名 称	①			所 在 地	②					
用 途	③			階数(階層)	地上	階	地下	階	塔屋	階
主要構造部	④耐火構造・準耐火構造・その他()				延べ面積				m ²	
避 難 器 具 の 概 要										
階 別	床 面 積	用 途	収容人員	無窓該当	階段の数	減 免 数	設 置 数	⑧	避難器具の種別(個数)	
		⑤	⑥	⑦					は()・袋()・緩()	
									は()・袋()・緩()	
									は()・袋()・緩()	
									は()・袋()・緩()	
									は()・袋()・緩()	
									は()・袋()・緩()	
									は()・袋()・緩()	
									は()・袋()・緩()	
									は()・袋()・緩()	
避難器具の種別										
型 式 番 号	第 ⑨ ~ 号	第 ~ 号	第 ~ 号	第 ~ 号	第 ~ 号					
設置場所の状況 (用途、構造等)	⑩									
開口部の大きさ 縦 × 横 (cm)	×		×		×		×			
腰 高(cm)										
操作面積 (m ²)										
固 定 位 置	⑪									
固 定 方 法	⑫									
固定部材にかかる 設計荷重(N)	⑬									
固定部材の許容応力 (N)	⑭									
その他	⑮									

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 避難器具の種別(個数)欄は、「は」は金属製避難はしご、「袋」は救助袋、「緩」は緩降機を表し、避難器具の種別の後の()内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。

- ① 当該防火対象物の名称（決定していない場合は、仮称でもよい。）を記入する。
- ② 当該防火対象物の所在地を記入する。
- ③ 令別表第1の該当する用途を記入する。
……（例）(3)項ロ
- ④ 該当するものを○で囲み、その他の（ ）内は建基法上の構造を記入する。
- ⑤ 各階の用途（複数の用途が混在する場合は主用途）を記入する。
- ⑥ 規則第1条の3により、算出した人員若しくは現収容人員（従業員数等）を記入する。
- ⑦ 無窓階の有無を記入する。
- ⑧ は・袋・緩以外の器具は、横線を引き該当器具の例により記入する。
……（例）~~は~~ 台
避難器具の略称例：滑り台は「台」、避難用タラップは「タ」、避難橋は「橋」、
滑り棒は「棒」、避難ロープは「ロ」
- ⑨ 当該器具の検定、認定の型式番号を記入する。
……（例）台～078号、降第6～1号、は第6～4号
- ⑩ 設置場所の用途、構造を記入する。
……（例）ベランダ、鉄筋コンクリート
- ⑪ 固定位置（柱、床、はり、壁等）を記入する。
- ⑫ ボルト締め、溶接等を記入する。
- ⑬ 避難器具の取付け具及び同固定部を設計する際の基本荷重を記入する。
- ⑭ 固定部材（鋼材等）の許容応力度を記入する。
- ⑮ 減免の根拠規定その他の特記事項を記入する。
……（例）規則第26条第2項